

# 福祉系大学経営者協議会 勉強会

## 「with コロナ時代の福祉専門職の育成を考える」 開催報告

令和2年12月3日(木)、福祉系大学経営者協議会勉強会「with コロナ時代の福祉専門職の育成を考える」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWEBにて開催。また従来の勉強会は、当協議会加盟校のみで行っていましたが、今回は全国社会福祉協議会にご後援いただいて社会福祉法人等からもご参加があり、参加者は108名となりました。

名取はにわ副会長(日本社会事業大学理事長)の進行のもと、冒頭、丸山悟会長(日本福祉大学理事長)が挨拶。「本日の勉強会で学んだことを、with コロナ時代の1つのムーブメントにつなげ、コロナ後を切り拓く力にしていきたい。勉強会での問題意識・発想を今後の協議会の取り組み・活動に昇華させていきたいと思う。」と述べました。続いて、第1部 特別講演、第2部 シンポジウムを行いました。

### ■ 第1部 特別講演 ■

「コロナ後の社会の展望－持続可能な福祉社会を目指して－」と題し、京都大学 広井良典先生(こころの未来研究センター 副センター長・教授)よりご講演いただきました。

「1.分散型システム」への移行」「2.格差の是正と「持続可能な福祉社会」のビジョン」「3.ポスト・グローバル化とローカライゼーション」「4.「生命経済」の時代」「5.福祉思想の再構築」の5点についてお話しされ、「コロナ後の社会の展望として、「福祉という領域が、「広さ」においても「深さ」においても重要性を増す時代」というようにいえるのではないか。」と締め括られました。

参加者からは、「コロナ禍のなかで目指すべき福祉社会の姿を明示いただけたことが良かった。」「ソーシャルワーク教育の価値に関わる「福祉思想」について、示唆に富むご講演をいただき、コロナ禍の教育においても重要な内容だと感じた。」などの感想が寄せられました。

### ■ 第2部 特別講演 ■

「with コロナ時代の福祉専門職の育成を考える」をテーマに、以下の皆様によるシンポジウムを行いました。

【シンポジスト】 全国社会福祉協議会 副会長 古都賢一 氏  
全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員会専門委員 菊地月香 氏  
(社会福祉法人同愛会 常務理事)  
福祉系大学経営者協議会 理事 市川一宏 氏  
(ルーテル学院大学 学術顧問)

【コメンテーター】 厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課長 宇野禎晃 氏

【コーディネーター】 日本福祉大学 副学長・教授 原田正樹 氏

「論点1 コロナ禍で、社会福祉ではどんな変化が起こっているか。コロナ禍で考えたこと。」  
「論点2 コロナ禍を経験して、これからの福祉専門職にはどんな力が求められるか。」「論点3 with コロナ時代、福祉専門職を育成していくために、それぞれの立場でやらなければならないこと。」「論点4 with コロナ時代、福祉人材を確保するためにどうするか。」「論点5 with コロナ時代、福祉専門職の育成にむけて、大学教育に望むこと（まとめにかえて）」の5点についてシンポジウムを展開。With コロナ時代に求められる福祉専門職像と、その育成について多面的に考える機会となりました。

参加者からは、「福祉系大学経営者協議会、全国社会福祉協議会、行政が一体となってコロナ禍の福祉専門職教育を展開できる可能性が感じられたシンポジウムだった。」「施設と大学が一体となって、変化に柔軟に対処できる人材の育成に取り組むことが必要と感じた。」などの感想が寄せられました。

最後に、長谷川匡俊副会長(大乘淑徳学園 理事長)が、「危機下で柔軟に対応していく福祉専門職がますます求められ、そのための汎用力の養成も重要性を増している。福祉専門職の養成校のみならず、福祉現場ともより緊密に連携・協働し、これらの課題に取り組む必要がある。本日の内容を踏まえ、今後も引き続き加盟校と議論していきたい。」と挨拶され、閉会しました。

※シンポジウムの内容は、別途ホームページに掲載予定です。